

**平成27年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 社会教育 課

1. 基本情報

1301

施設名	伊丹市立生涯学習センター（ラストホール）		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進し、あわせて市民の教養、文化の発展と健康の増進を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標：未来を担う人が育つまち 施策目標：ライフステージごとに学び活躍する人づくり 主要施策：生涯にわたる主体的な学習の支援		
指定管理者の名称	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	利用者人数 (単位： 人)	
	指標の意味	講座・イベント+貸館+フィットネスの利用者のべ人数	
	今年度の目標値	195,500	通期の実績値 207,246

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H23	H24	H25	H26	H27(上期)	H27(通期)
	来館者数(人)		337,586	390,441	407,529	371,008	377,910	188,007
貸し室稼働率(%)		39	46	46	46	45	43	43
講座開催回数(回)		630	973	944	919	974	533	1,038
講座参加者数(人)		18,879	45,302	43,766	41,445	44,153	19,662	42,795

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成27年度指定管理者の収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
指定管理委託料		118,877	指定管理委託料	125,516
利用料金収入		55,118	利用料金収入	56,337
事業収入（講座料収入等）		13,197	事業収入（講座料収入等）	15,261
その他		241	その他	231
合計		187,433	合計	197,345
	<支出の部>		<支出の部>	
人件費		32,807	人件費	36,677
維持管理経費		50,012	維持管理経費	51,258
事業等経費		15,627	事業等経費	14,952
フィットネス事業経費		88,987	フィットネス事業経費	90,187
合計		187,433	合計	193,074
	<収支差>		<収支差>	
収入合計－支出合計		0	収入合計－支出合計	4,271

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ <単位:千円>		H23	H24	H25	H26	H27	H28
	市の収入		2,071	2,048	2,146	249	251
(内、使用料収入)		0	0	0	0	0	-
市の支出		108,922	107,897	113,704	127,672	269,744	-
(内、指定管理委託料)		107,905	106,861	111,849	118,877	125,516	-
実質経費（歳出－歳入）		106,851	105,849	111,558	127,423	269,493	-

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的の実施し、常に清潔に保たれているか。	B	半年間の大規模工事(外壁・屋根改修)に伴う諸業務にも柔軟に対処し、施設の維持管理業務について、担当課と協議をはかりながら臨機応変に対応しました。	A	半年間の大規模工事(外壁・屋根改修)に伴う諸業務にも柔軟に対処し、施設の維持管理業務について、適切な管理業務を行っている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	A			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	A	施設運営の実務経験が長いスタッフを配置し、研修や館外連携等、業務スキル向上に努めました。	A	適切な施設・事業運営に向けて人員配置と職員研修を行っている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	緊急連絡体制も整備し、年2回の防災訓練も実施しました。	B	緊急連絡体制を整備し防災訓練も実施している。
		避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	利用の少ない時間帯や年齢層へむけた新規講座の開設や市民が主体となった市民企画のイベントを多数開催しました。	A	利用者の少ない時間帯の新規講座の開設など利用者増に向けた取組を行っている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	市民の協働と参画を軸に、生涯学習事業を幅広く展開しました。	A	市の施策に沿った事業を積極的に行っている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	ホームページ上に誤表記や紛らわしい表現があり、市民から指摘を受け、早急に改善を行いました。	B	情報公開条例を遵守し、広報紙・チラシ等を活用し情報提供を行っている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	A	事業収入(イベント講座・フィットネ)が予算を上回りました。	A	適切な経理処理を行うとともに、収入が計画を上回っている。
経理処理は、適切に行っているか。		B				

「評価」欄の記号の意味

「A」=協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」=協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」=協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」=当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	
総合評価	利用者人数の目標値は達成され、サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っている。また、協定書・仕様書に基づき、市総合計画等の施策の趣旨を踏まえた経営管理が行われている。
A	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」=管理運営が非常に優れていると認められる。

「A」=管理運営が優れていると認められる。

「B」=管理運営が適正であると認められる。

「C」=管理運営が改善を要する水準である。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成28年3月1日 ~ 平成28年3月15日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	・館内の清掃は行き届き、清潔に保たれていますか。 → 「はい」 94%	定期清掃により概ね清潔に保たれている。利用者から指摘があった場合は早急に対応している。
回答者数	・職員の接遇態度はいかがですか。 → 「たいへん良い」 42% 「良い」 51%	「たいへん良い」の評価が「良い」を上回るよう、丁寧な接遇に取り組めます。
95	・教養大学の定員を増やしてほしい。	定員を大幅に超えるニーズの座学講座については、講座の増設も視野に検討してまいります。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置